

Wiley 社ジェフリー・シュガーマン副社長が来日

経団連、在日米国商工会議所などでプレゼンテーションを実施し、
職務マッチングの重要性を参加者にシェアする

2015年12月25日

この度 Wiley 社ジェフリー・シュガーマン副社長が来日し、2015年12月10日に日本経済団体連合会（経団連）、翌11日に在日米国商工会議所（ACCJ）において「複雑化する労働市場における高度人材の募集・育成・定着」をテーマに基調講演をされました。また、11日には、HRD グループ主催の「Assessment Forum Tokyo2015」において「人材マネジメントの現在と未来」と題したプレゼンテーションを実施、各会場ともに満席状態の盛況で参加者はシュガーマン氏の説得力あるプレゼンテーションに熱心に耳を傾けていました。



マッチングについて戦略的に考えることであり、それは企業の収益アップにつながる」という、基調講演でのシュガーマン副社長の言葉は、日本における HR に携わる参加者にインパクトを与えるものでした。

これまでともすれば、特に日本の企業においては、人材採用においては面接を重視し、適材配置に関しては少数のマネジャークラスの判断によって決定されてきたきらいがあります。シュガーマン副社長がグローバル視点の導入、自社の成功モデルの構築、採用・育成・評価・配置計画の一貫したシステム管理運用の重要性を訴えたことは、わが国の人事・人材開発の文化・システムを根底的に改革することにつながる可能性を持っています。



●わが国の人事・人材開発の文化・システムに一石を投じる

シュガーマン副社長の講演は、日本の代表的な企業・団体によって構成される経団連及び在日米国商工会議所の両団体が、米国における人事・人材開発の状況について最新の情報を会員に知ってもらいたいという趣旨から開催されたものです。わが国の企業にとっても人事・人材開発は、企業の業績に直結するテーマであり、効率的・合理的な採用から人材育成、適材配置による職務マッチングをどう構築するかが最大の課題となっています。

それだけに「企業人事の付加価値とは、職務



講演後に行われたアンケート結果においても、自社にベストマッチな人材採用、社内専門スキルの可視化と有効活用など、科学的な判断基準を人事・人材開発に導入することへの共感を読み取ることができます。



●Wiley 社、パートナーなどとのより強い連携を

HRD グループが主催した「AFT2015」は、Everything DiSC®、ProfileXT®など Wiley 社の提供するアセスメントを活用した事例報告会であり、多くの企業人事担当者、コンサルタント、パートナーに参加していただきました。

シュガーマン副社長のプレゼンテーション、事例レポート、12 に及ぶ分科会など多彩なプログラムが生まれ、これまで HRD グループが主催した中でも充実したコンテンツとなりました。

シュガーマン副社長のプレゼンテーションは、国内の人事・人材開発に携わるアセスメントフォーラムの参加者にとって、国際的な視点・視野を導入するまたとない機会となったと思われます。グローバルかつ科学的なアプローチによるアセスメントの導入は、わが国の企業組織の人事・人材開発のレベルアップに貢献するものといえるでしょう。

HRD グループの各スタッフにとっても、経団連におけるシュガーマン副社長の講演、「AFT2015」の開催は、Wiley 社、企業各社の人事担当者、パートナーとの連携をさらに強化し、よりよいアセスメントの提供を実現するための重要なイベントとなりました。

※経団連におけるシュガーマン副社長の基調講演は、日本経済団体連合会の機関紙「経団連タイムズ」に掲載される予定です。



〒135-0046 江東区牡丹 1-14-1 KDX 門前仲町ビル 4F

TEL : 03 (5620) 4851 FAX : 03 (5620) 4852

HP : <https://www.hrdgroup.jp/>